

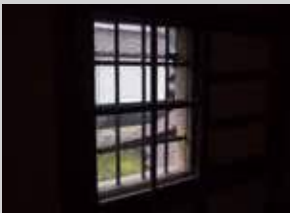
# そら

第3号

東近江の  
いいとこ  
いいひと  
見つける本

# つどう家 住みつなぐ人

空き家にしておきなんてもったいない。  
時を経て再び風が吹き抜ける家には、  
温もりと、みんなの笑顔が溢れている。



## そこら 第3号

- 1 つどう家、住みつなぐ人  
～古民家から広がる新しい暮らし～
- 18 地域にはばだけ！ 地域おこし協力隊
- 20 びっくりふしぎな かかしアート ー小西節雄さんー
- 22 やってみました！ 幻のラジオ体操第3
- 26 ロボット今昔 ー岡田勲さん、ココロボ2ー
- 31 みて きて 歩いてみよう！ 御代参街道
- 34 東近江の伝統を受け継ぐ ー小幡人形 細居源悟さんー
- 36 縁側カフェ
- 37 銭湯へいらっしやい
- 40 東近江 MAP





## 水も、空気も、土もいい みんなが集まる田舎のお宿

### 田舎のお宿ぴっかり

西田 三郎さん  
西田 光子さん



「昔から古道具や鄙びたものが好き。土の匂いのするものが」。田舎暮らしに憧れて、約5年前に不動産会社を通して見つけた愛東地区の古民家に、大阪から移り住んで来られた西田さんご夫婦。古民家を探していた時の一番の条件は、畑がついていること。家のすぐそばに畑があり、買い物にも便利、病院や高速道路のインターにも近い愛東地区は、理想的な場所だったそうです。「ここは環境がええから、空気がええ。土もええから野菜が育つ。米もおいしい、水がええ。食べ物美味しい条件がみんな揃ってるんやな」。料理が趣味の光子さんにとって、食べ物がいっぱいことは絶対条件だったそう。はじめて近所の人にはうれんそうをもらったときには、スーパーで売っている野菜との味の違いに驚いたのだとか。

さつそく畑づくりをはじめたのはいいものの、畝の作り方も、鍬のふるい方も知らない光子さんに、近所の方が畑づくりの方法を懇切丁寧に教えてくれました。はじめはうまく馴染めないので心配していたご夫婦。ところが周囲の人はとてもあたたかくお二人を迎えてくれたそうです。「滋賀の人は、氣質があつたかい。昔からずっと滋賀にいたような気分。子どももみんな会ったら知らない人でもちゃんと挨拶する。大阪ではなかったことやな」。

大阪から訪ねてきた友達をもてなすうちに、「いくら友達でも無料で泊めてもらうのは気兼ねする」との声があがり、それなら自宅での農家民泊を開始。そのうち光子さんの料理が評判になり、採れたての野菜を使った料理体験も行うようになりました。

「宿までの道で迷っておられるお客さんを、近所の方がわざわざ連れてきてくださる。本当にありがたい」と三郎さん。都会から訪れた人たちは、鈴鹿山脈の雄大な風景を楽しんだり、若い人だと四葉のクローバーを探すのに夢中になったりするのだとか。お二人にとって何よりの楽しみは散歩だそう。愛知川の河原の小石を拾ったり、夕日を眺めたり。散歩の途中で雉の親子に出会うなど、毎日いろんな発見があるようです。「ぶどうの色とか茶畑とか、景色の中に変化を見つけるのが楽しみ」。

この家の購入を決めるとき、「バス停から徒歩2分」の記載をみて、それなら安心と思ったのに、バスがちょこっとバスで本数が少ないと知り、あわてて電動自転車を購入。それでも雪道に困って、とうとう自動車の免許を取得したというエピソードも。食事に来られたお客様が、料理を置くための木の板を作ってくれたり、定期的に包丁を研いでくれたり、今では「ぴっかり」を通していろんな人とのあたたかなつながりが生まれるようになりました。当初予定した『のんびり田舎ぐらし』とはちよっと違った形で、ご夫婦のこれからの毎日は賑やかに、豊かな可能性を秘めて広がっていくそうです。

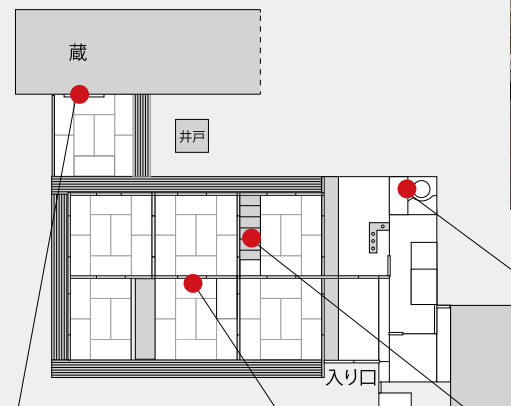


(問い合わせ)  
あいとうエコプラザ菜の花館内  
愛のまち民泊推進協議会 ☎0749-46-8100

#### question

#### 東近江のおすすめはどこ？

おくの運動公園から見た夕日  
なんともいえない夕日の色の美しさに感動！



古い風呂と  
焚き口が  
そのまま  
残っています



蔵への入り口  
中の整理はこれからです



神棚



立派な箱階段



いろいろ遊べそうな広い庭



(問い合わせ)  
特定非営利活動法人ひばり (こもれ日小田莉家)  
東近江市小田莉町352  
☎090-3288-6580 (井田さん)

#### question

東近江のおすすめはどこ？

押立神社です。おみくじが出てくる木製の自動販売機があるそう。

(インタビューに応じてくださった方)

こもれ日 小田莉家 世話人 井田 久美子さん



#### 本で知る家のこと①

「古民家は語る 受け継がれてきた暮らし」

吉見静子 著 (新評論) 2013 年

滋賀県に多く残る古民家の形には、そこで生活を営んできた人々の思いが溢れ、地域ごとの暮らし方の違いが読み取れます。

みんなが主役・まちの居場所づくり

## こもれ日 小田莉家

湖東地区の小田莉町に、明治初期に建てられた築140年を越える大きな屋敷があります。これまで住む人々を静かに見守ってきたこの家が、地域のみんなの居場所として新たに生まれ変わりました。

平成26年8月。誰でも気兼ねなく訪れることができる地域の居場所をつくるために、家や事務所を探していた井田久美子さんが、この家を知り合いから紹介してもらったことが『こもれ日小田莉家』の始まりです。翌年2月からはボランティアを募集し、今まで荒れ果てていた家の中の掃除を行いました。ゴミは、トラック何台分にもなったそうです。そして3月末には無事開所し、これまでヨガや俳句の会、ケーキづくりなどたくさん催しが行われてきました。

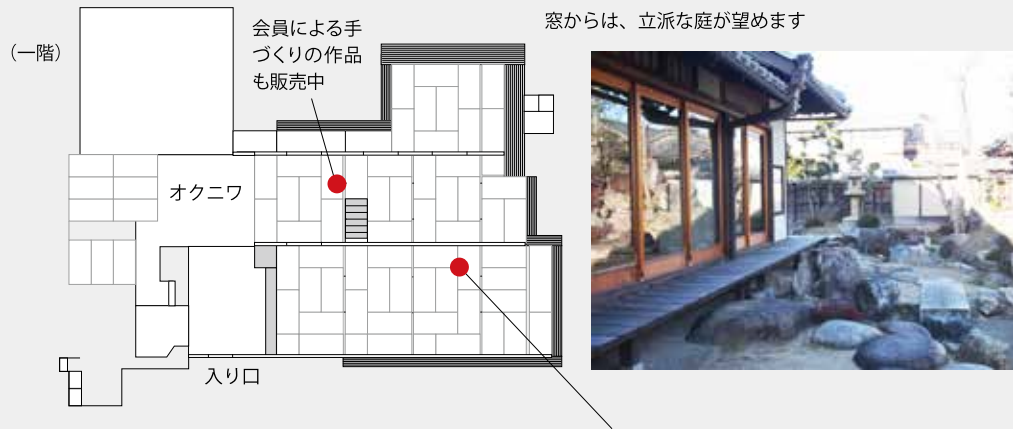
一部の部屋や蔵はまだまだ改装が必要ですが、この家に惹かれて

様々な地域から集まった仲間たちが、みんなで力を合わせます。「蔵で肝試しや、宝さがしをしたい」「ピザ窯を作ってみんなでピザを食べたい」「蔵を男の隠れ家にしたいてい」とたくさんやりたいことが出てくるのは、この屋敷が思いを広げてくれる空間だからこそ。

「小田莉家は『みんなが主役』と語るのには、世話人の井田さん。取材の日には「散歩コースの途中にあるから」と、ふらっと訪れる近所の男性も。誰もが気兼ねなく訪れることができ、世代に関係なく知り合いになることができるのが、この家の魅力です。

みんなの憩いの場所「こもれ日小田莉家」。多くの人々に支えられ、夢が詰まった素敵なみんなの居場所として、これからどう変化していくのが楽しみです。





この建物は、近江商人外村宗兵衛により明治に増築され、その後中江富十郎の所有となりました。富十郎は中江家の三男として、兄弟とともに昭和8年京城（現在のソウル）に三中井百貨店を完成させた人物です。

取材に訪れた2月には、雛人形の展示が行われていました。

## question

東近江のおすすめはどこ？

祭・馬場通りや寺前・鯉通りの金堂の町並み

(インタビューに応じてくださった方)

金堂まちなみ保存会理事長 小杉 富男さん

(問い合わせ)

金堂まちなみ保存交流館  
東近江市五個荘金堂町904  
☎050-5801-7101



まちのたからを守り継ぐ

# 金堂まちなみ保存交流館

近江商人の心得として有名な「三方よし」。「売り手よし、買い手よし、世間よし」という言葉は、売り手だけでなく、買い手も満足し、商売を通じて地域の発展にも貢献するという近江商人の精神を表しています。

五個荘地区は、そんな近江商人発祥の地のひとつです。中でも五個荘金堂町には、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された歴史のある美しいまち並みが残っています。平成27年4月には、日本遺産にも認定されました。

その金堂の町並みを次の世代へつなぐため活動を行っているのが「特定非営利活動法人金堂まちなみ保存会」のみなさんです。自治会の中で、今後の町づくりについて話し合ったことが始まりで、観光案内や地区内の修理相談業務などを行っています。

活動の拠点施設である「金堂まちなみ保存交流館」は、かつて近江商人の屋敷でした。「奥二階」は吹き抜けで立派な梁が見えます。庭は池泉回遊式で、昔は錦鯉が飼われていたそう。もとは平屋だったこの屋敷は、明治6年に2階部分が増築されました。その名残りか、2階は部屋ごとに段差がある面白い造りになっています。

10年前まで空き家だったこの家は、地域の方の熱意を受けて公有化され、保存修理が行われ、かつての堂々とした姿が甦りました。

金堂まちなみ保存会の理事長小杉富男さんは仰います。「一番大変なのは、次へ守り伝えること」。この町並みを地域の誇り、そして宝として次の世代へと繋ぎ、守り続けていくためのシンボルとして、屋敷は今も大切な役割を果たしています。



Logi-Co



## 本で知る家のこと②

「Logi-Co」

NPO 法人空き家再生プロジェクト（新評論）2013 年

尾道市で行われている空き家再生プロジェクト。住んでみないと分からない、素敵なこと、大変なことなど生の情報が詰まった一冊。いろいろな人の暮らしと町の魅力が伝わります。



みんながつながる、えーところ

## 子民家 etokoro



能登川駅前には、食堂や薬屋さん、文房具屋さんの立ち並ぶ昔ながらの商店街があります。食堂横の道を入ったところにあるのが「子民家 etokoro」です。12月とは思えないほど暖かい光の差しこむ窓辺で、NPOエトコロの理事長・善住さん（ぜんじゆう）とスタッフ・中島さんに、この場所がうまれた経緯について伺いました。

エトコロの活動が芽吹いたのは、平成22年の6月ごろ。空き家となっていたこの家が解体され、駐車場になってしまったかもしれない……と聞きつけた有志数人が、なんとかしてこの場所を商店街の拠点とできないか、と地主さんの協力のもと、改修の許可を得てスタートしました。その一人が青果店・八百藤を営んでいた善住さんです。寄り集まった人々の手で改修を加えながら、この場所の活用と運営の仕方を話しあいました。国からの補助金を受け、翌年3月末に改修が終わり

10年以上ひとけがなかった空き家が、地域の有志の力によって改修され、人の集まる場「子民家 etokoro」に生まれ変わりました。「絵」「ところ」「ええ（良い）ところ」を掛けて付けたエトコロ。当初は子どもたちの健やかな成長を見守り、親子で五感を育む場としての親子教室を中心に開催していました。ですが活動が展開するにつれ、商店街の拠点・地域社会の拠点として、老若を問わずさまざまな人々がこの場所を活用されています。

たとえば滋賀県立大学の学生プロジェクト。商店街活性化を目的としたプロジェクト「ラリルレトロ」として、学生たちによる1dayカフェを実施しました。また、聖泉大学の臨床心理士と学生が、フリースクールを開講したこともありました。

ほかにも、学習教室や、洋裁リフォーム教室が行われていたり……もちろんエトコロ主催の楽しいイベントや講座もたくさん行われています。

現在、NPOエトコロのメンバーは善住さんと中島さんを含め、全8名。地域の方々にもいろいろなかたちで応援してもらっています。そこに子どもたちや、子育て中のお母さんお父さんたちが訪れることで、地域住民がふれあい、つながる場になっているのです。



↑エトコロには蔵もあります。子どもたちと影絵あそびをしたり、上映会やヨガ体験が開催されたりと、独特の風合いを活かして利用されています。

↑薪ストーブは、「見るだけでほっこりする」と大人気。本物の火を見たことがない子供たちも多く、ストーブを通じて「そうなんや」と学ぶことがいっぱい。

(問い合わせ)

特定非営利活動法人エトコロ (子民家 etokoro)

東近江市林町2-1

<http://etokoro.shiga-saku.net>

## question

東近江のおすすめはどこ？

(善住さん) 栗見出在家の浜辺です。東近江市は琵琶湖と少ししか接してへんけど、昔ながらの砂地が広がって夕日もきれいなところや。

(中島さん) 太郎坊宮です。悪いことしたら岩にはさまれる!というのを、かなり長い間信じていました。「お仕事体験塾」の一環で子どもたちを太郎坊に連れて行き、権禰宜のお仕事について伺ったこともあります。



善住さん(左)と中島さん(右)



## 住井邸（旧住井歯科医院）



近江鉄道八日市駅の近くにあるほんまち商店街を歩くと、北側の出口近くに素敵な洋館が目に入ります。昭和5年に建てられたヴォーリス建築の「住井邸」です。

昭和24年にお嫁にいられてから、ずっとお住まいになっている住井加壽子さんにお話をうかがいました。「この家は私の義父が建てたもののなんです」と住井さん。2階で歯科医院をされていたため、受付

や待合室など、当時の雰囲気が残っています。一つひとつの部屋は小さめにつくられていて、住み込みの方もいたことから、扉ごとに鍵をかけられるようプライバシーに配慮したつくりになっています。お話をうかがった応接間には、マントルピースの跡が。戦前は暖炉として利用されていました。が、戦時中、煙突から煙が上がって狙われるのを避けるため、使用できないようにされたとのこと。家のあちらこちらに、これまで歩んできた歴史を感じる素敵な家でした。

平成28年1月からは、地域おこし協力隊の方が2階を利用して商店街を活性化させる取り組みがはじまっています。これから、「住井邸」は時代と共に変化していきます。



移住された方にききました

東近江の魅力ってどんなところですか？



ジャンカルロ・モリコーニさん モリコーニ・直美さん

平成25年に、スペインから東近江に引っ越しされたモリコーニ直美さん。イタリア系アメリカ人の夫、ジャンカルロさんと滋賀への永住を検討中です。直美さんはアートを使った子どもたちの創造力を養う活動「地球ハートヴィレッジ」を立ち上げ、国際交流を交えた野外活動や自然体験活動をされています。ジャンカルロさんも、国際交流協会などで英語やイタリア語を教えておられます。

東近江の魅力について何うと、まず挙げられたのは自然。山や琵琶湖、平野など様々な姿を見せるのが好きとのこと。「葎や、野うるしが生えていたりする水辺独特の風景が好きです。休みの日には永源寺の山や溪流で自然を満喫しています」。

次に食べ物。「稲穂がずっと広がる風景や、白菜、大根がずらっと畑に並んでいる光景に驚きました」とジャンカルロさん。お米のほか、イ

ワナや鹿、猪など湖国の豊かな食もおいしくいただけるのも魅力だとか。

そして一番の魅力は人のあたたかさ。「引っ越し後『わからないことがあったら聞いてね』と近所の人に声をかけられ、お茶に呼んでもらいい、すぐに仲良くなれました。また、熱い人が多く、教室やイベントのことも一緒に考えて『こうしたら？』とアドバイスしてくれるんです」と直美さん。「主人が自治会の役を引き受けたことで、自然と人の縁も広がりました」と笑顔でお話しいただきました。

「この東近江で発見することは、まだまだあるんです」。2人の活動はどんどん広がりをみせています。

## question

東近江のおすすめはどこ？

永源寺にある御池丘  
自然豊かでトレッキングに最高！



今まで出会ってこられた方々の協力の  
のもと、全国各地から新鮮な素材が  
届くため、あえてシンプルな味付けに

ふくほんてん  
かこいめし酒場 とり福本店  
東近江市八日市東本町5-36  
☎0748-25-5029  
ランチ 11:30~14:00  
ディナー 17:00~24:00  
木曜定休

#### question

東近江のおすすめはどこ？  
永源寺のキャンプ場  
毎年兄弟、友人と一緒に楽しめます。



照明も、当時使用されていたエジソンランプのレプリカを使って温かみのある空間に

「お店を開店するには『本当にここ  
でしたい』という気持ちが必要で  
と雄輔さん。空き家で使われていない  
期間が長かったため、傷みもはげしく、  
改装費用や建物の維持にたくさんのお  
金が必要になりました。ですが、「明  
治から続いたこの歴史のあたたかみは  
新築では決して出せない」という強い  
気持ちで様々な苦労を乗り越えてこ  
れました。

「とり福」に入ると、素敵ないろり  
が出迎えてくれます。初めてお店にき  
た人も、自分のおうちのようにくつろ  
げる団らんの場になればと、いろりを  
囲む形になりました。

お店の改装は初めてでしたが、情報  
収集をしたり、他の古民家を見学した  
りする中でいろいろな知識を得ること  
が出来たため、今では古民家を活用し  
たお店を始めようとされている方の相  
談にのったり、空間デザインをしたり  
と、福本さん兄弟の活動は新たな広  
りを見せています。

兄弟の絆だけでなく、それぞれ縁  
があつた人たちとのつながりがあつて  
今の「とり福」がある。建物の歴史と  
人々の熱い思いが重なって、あたたか  
みのあるお店となっています。

#### 1 軒目

## とり福 本店



左から、三男隼也さん、長男雄輔さん、次男翔太さん

福本さん兄弟が、のちに「とり福」  
となる空き家に出会ったのは平成24  
年。見た瞬間に「ここだ！」と感じた  
そうです。

みんなが笑顔で集える場所を作りたい、  
そしていつかはお店をしたいと考  
え、日本各地で様々な仕事をし、いろ  
いろな人との縁を結んでこられた長男  
の雄輔さん。兄弟でその夢を実現しよ  
うと、沖縄の飲食店で働いていた次男  
の翔太さん、東京で音楽活動をしてい  
た三男の隼也さんが集まり、お店を出  
すことになりました。

福本兄弟が出会った建物は、昔はダ

ンスホールや洋裁学校として使われて  
いた歴史ある建物。出会った当時は建  
具が壊れ、草も生え、取り壊される寸  
前。まずは、どんなお店にしたいのか、  
雄輔さんがこれからのお店のイメージ  
を物語にしたため、そのイメージを基  
に友人と一緒に夜遅くまでお店のデザ  
インや、構想を練られました。解体、  
床張りなど、自分たちでできる場所は  
全て友人の協力を得ながら作業をさ  
れたそう。

構想から4年。兄弟の思いが詰まっ  
た素敵なお店がついに平成26年に開店  
しました。

## 空き家から お店へ

東近江で、空き家を素敵に  
活用されているお店をご紹介  
します！

## ひとめぼれした空き家を 理想のお店へ



解体から自分たちで



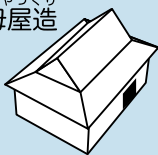
堂々とした梁。気持ちが良い

## ●湖東地域の農家住宅の特徴

せいけいよつまどり  
整形四間取

|     |      |        |
|-----|------|--------|
| ネマ  | ゲイトコ | 土間（二ツ） |
| ザシキ | デイ   |        |

いりもやづくり  
入母屋造



**Q** 東近江地域の民家のつくりの特徴はありますか？

**A** 一般的に民家は大きく農家と町家に分かれます。東近江市は農村地帯を中心に、現在でも江戸時代後期から明治時代に建てられた、伝統的様式の農家住宅が多く残ります。湖東地域の農家住宅の特徴は整形四間取（せいけいよつまどり）といって、土間の横に田の字型に4つの部屋があるのが一般的です。

**Q** 快適に暮らすための工夫はどんなものがありますか？

**A** 平野部の民家は窓を多く取って日差しを取り入れるとともに、風通しを良くしています。建具で仕切る部屋境も、欄間（らんま）を入れたり、夏は建具を簾障子（すだれ）に替えるなどすることで、室内に風が通るように工夫しています。しかし冬の寒さに対しては、囲炉裏（いろり）がなく、十分な暖をとることは難しかったようです。

**Q** 市内の各地域によって民家に違いや特徴はありますか？

**A** 使っている材料に違いが見られます。

## 東近江の伝統的な住まい

歴史文化振興課の職員さんに教えていただきました。



民家の建築に必要な材料は、昔は大規模な物流がなかったため、近辺で調達していたのです。例えば屋根の葺き材は、平野部ではヨシや藁、山間部では山茅（やまぐさ）を使っています。

**Q** 他に古民家を見るポイントがありますか？

**A** 今でも使われている民家は、増築したり、床や天井を張るなど、何度も改造を受けています。柱や梁などに残された痕跡を丁寧に調べると、建物が辿った歴史が見えてきます。古民家を見る機会があれば、歴史の謎解きに挑戦してみませんか。

お話をお聞きして



民家は地域の風土に合わせられていたのです。ね。改めて古民家の奥深さに気付かされました。

教えて！

## 譲り受けた米蔵を改装

2軒目

茶くら



愛東地区の「茶くら」は、蔵を改装した建物。ゆったりほっこりできるカフェです。店主の木村さんが子どもの頃から近所にあつた家が空き家になり、蔵を残してもらい譲り受けました。

最初は趣味として始めた蔵の改装。近所の仲間たちとお酒を飲んだりしていました。奥さんの希望もあり、カフェを始めることになりました。

傷みのひどいところもありましたが、できるだけ蔵の良さを残してリフォーム。米蔵だったため、柱に入

っていた虫を地道に取り除くこともありました。また、古い階段をカツプの飾り棚にリメイクしたり、解体された母屋の建具も再活用。色々なところから集めた古道具は、どれも蔵に馴染んで元からそこにあつたかのように。知り合いの家が解体されると不要になった家具を譲り受け、水で洗って陰干しし、大切に保管。出番が来る日を待っています。

オープンしてから少しずつ改装を重ねる「茶くら」は、より素敵な空間へと日々変化し続けています。



question

東近江のおすすめはどこ？

東光寺です。お帰りに、茶くらにお立ち寄りください。

茶房 茶くら

東近江市平尾町572

☎0749-46-1260

10:00～17:00

月・火曜定休



# 一般社団法人 東近江住まいるバンク による総合相談窓口のイメージ



こんなしくみができました！

## おしえて空き家のこんなこと！Q&A

**Q** こんんなボロボロの家、誰も借りてくれないでしょう？

**A** いいえ、借りた人がいます。例えばボロボロでも家賃が安い方が良いという人がいます。手作りで自分の好みの住まいに作り直したい人、汚しても大丈夫な空間がほしい人もいます。人が住まいに求める姿はさまざまです。



**Q** いっそ更地にしたらいいのでは？

**A** 建物が無いと税金が高くなってしまうんです。壊れて危険な建物は解体が必要ですが、更地になると固定資産税が4倍くらいまで上がります。使える建物は、ぜひ活用してください。



## 空き家Ⅱ 地域資源 ではなく



**東近江にも1000戸を超える空き家があります！**

一部の空き家は上記のような問題がありますが、ほとんどの空き家が問題がありません。市は、今はそれらの空き家の有効活用を進めていきます。



空き家は基本的に所有者の財産であることから、**所有者が積極的に改善されない限り対策が進まない**のです。

みんなでかんがえよう

## 空き家のおはなし

おはなししてくれるひと



市役所総務課 くりたさん

「空き家」というフレーズを最近よく耳にしますが、そもそも皆さんが日常の生活の中で空き家というものを意識する機会はいくつありますか。私自身ではないでしょうか。私自身も市役所で空き家対策の担当をするまで、自分の暮らしている地域に空き家があることは知っていました。そのことをあまり深く考えることはありませんでした。

## 何が問題なの？



管理がなされないことで老朽化し倒壊の危険性があるものや、庭の草木が茂り害虫等が住みつくことで**周辺に住んでおられる方の生活環境に悪影響を及ぼす事例**が全国的に増加しています。



こんな風に崩れたり！



こんな風に茂ったり！

地域にはばたけ！

# 地域おこし協力隊

地域おこし協力隊って？

総務省の制度で、地域の活性化を図るための新たな担い手として活動を行う人を約3年間自治体が地域おこし協力隊として委嘱する取り組みです。東近江市では地域の人と一緒に地域の「よいところ・よいもの」をもっと盛り上げよう！と現在、7名の協力隊員がパワフルに活動しています。今回は、その中でも早くから奥永源寺地域で活動している3名の隊員について紹介します。



地域おこし協力隊アドバイザーの曾根原さんと！

## 3人が活躍する 奥永源寺地域とは？

東近江市の最東部に位置し、ほぼ全域が鈴鹿国定公園となつている自然豊かな地域。木地師発祥の地、政所茶生産の地でもあります。反面、東近江市内の中で一番少子高齢化や人口減少が進んでいるという悩みもかかえています。



出身：兵庫県宝塚市  
活動期間：平成26年4月～  
幼いころから自然が好きで、学生時代、農業に一生をささげることと決意して協力隊となった。  
特技：弁論

question

東近江のおすすめはどこ？  
御池岳の山頂です。晴れた日は琵琶湖も見え、東近江全域が見渡せるベストスポットです！

## 前川 真司さん

前川隊員の活動テーマは東近江市の花「ムラサキ」。ムラサキは、古くは万葉集にも登場する、絶滅危惧種にも指定されている白く可憐な花です。奥永源寺地域の休耕田を利用して栽培を行うとともに、八日市南高校や紫草を育てる会や地域の団体等と協力し、栽培からムラサキの根を利用した染め物、化粧品などの商品開発までを行っています。また、奥永源寺地域が発祥の地である木地師のPRも行っています。

「東近江に住んでみてどうですか？琵琶湖から鈴鹿まで、奥へ行けば行くほど奥が深い。魅力たっぷりなりとるが「魅力」です。」



## 藤井 悠矢さん



出身：大阪府箕面市  
活動期間：平成27年4月～  
元ダンサー。イベント会社にも勤務していた個人的な経歴の持ち主。幼いころから自然が好きでアウトドアが趣味。友人から募集のことを聞き、一念発起して協力隊となった。

question

東近江のおすすめはどこ？  
神崎川のきれいだです。

藤井隊員の活動のテーマは「自然」。奥永源寺地域に広がる溪谷や棚田を活用し、地域の文化が体感できるイベントを実施しています。平成27年には棚田で新米を堪能できる「棚田deピクニック」を開催し大盛況！今後も自然の中で楽しむイベントを計画中です。



question

東近江のおすすめはどこ？  
茶摘み時期の早朝、朝露が残っている政所茶の茶畑です。



## 山形 蓮さん



出身：滋賀県大津市  
活動期間：平成26年4月～  
滋賀県立大学在籍中、政所茶の再生を目指す「政所茶レン茶会」の一員として東近江市にかかわったことがきっかけで協力隊となった。

山形隊員の活動のテーマは「政所茶」。政所茶はかつて「宇治は茶所、茶は政所」と茶摘唄にうたわれた銘茶。今は担い手不足等により生産量が減少し、「幻の茶」となっています。山形隊員は、無農薬手摘みで生産されている政所茶に新たな付加価値をつけ、地域の仕事になるよう取り組みをスタート。地元の方から借り受けた茶畑での生産、茶摘み体験やお茶の販路開拓、加工品開発など、精力的に活動されています。

## これからの地域おこし協力隊

地域の新しい風として入ってきた地域おこし協力隊のみなさん。大きな壁にぶつかりながらも、地元の方と協力しながら東近江市の魅力をより多くの人に伝えようと頑張っています。今後の活動に乞うご期待！

みんながスピードをゆるめる  
「中学生がかかし」。



見に来る人も多くなりました。  
また、このかかしは交通安全の面でも効果絶大！自宅近くの交差点に、自転車に乗った中学生のかかしを設置したところ、かかしだと気づかず車の運転手がスピードを落とすようになりました。警察の方も小西さんに習って作ったかかしを交差点に置き、スピード違反を減らす取り組みをされています。かかしは今、畑に留まらず少しずつ外へと出かけています。  
小西さんのかかしは、足、腰、腕が自在に曲がります。その秘密は、木材同士をボルトでつなぐこと。骨盤と肩には丸い木の板を入れ、その板に背骨になるようにまっすぐ棒がくっついています。またプチプチ（気泡緩衝材）で丸みをつけ、より人間らしく仕上げて



小西さんのかかし製作現場

います。作業場にはフリーマーケットで購入された帽子や靴、衣装がお店のように並んでいました。近所の方や新聞記事を見た方から、美容室で使わなくなったマネキンの顔や、靴、服等が送られてくることも。小西さんの「みんなを楽しませたい」という思いがまわりの方からの支援につながっています。  
また、いつも同じかかしがいるわけではなく、流行や季節に合わせてかかしも変わります。取材をした12月には、流行語大賞のかかしや、サンタクロースのかかしなどが登場していました。「遠い」とから見たに來たと言われると、新しくつくりかえな、楽しませな、て

思うんや」と小西さん。「ま、奉仕やな」と笑う小西さんからは、まわりの人を思いやる気持ちがあふれていました。ちなみに最初の目的だったカラスも、畑を荒らすことはなくなつたとのこと。今では小西さんの畑から、カラスはどこかへ行ってしまいましたが、かかしとたくさんの方がどうにぎやかな畑となっています。

かかしの中に本物の人がいます。  
さて、どこでしょう？

question

東近江のおすすめはどこ？  
永源寺（お寺）



爆買いツアーのみなさん（かかし）と小西さん

びっくりおしぎな

かかし  
アート

こにし せつお  
小西 節雄さん

山上町の田園地帯を車で走るとたくさんの方が集まる異様な光景が目飛び込んできます。畑仕事に精を出すおばあさんに「こんにちわ」と声をかけても返事がありません。聞こえていないのかな、と再度挨拶しても返答なし。実は、おばあさんは「かかし」なのです。かかしを制作したのは、畑の所有者である小西節雄さん。数年前、畑のスイカを守るために一体のかかしを作ったところ、カラスをだませただけでなく、近所の人や通りがかった人が勘違いするほどのものになりました。通りかかる近所の方が、「おはよう」「朝から頑張ってるなあ」と本物の人だと勘違いして声をかけている様子が楽しくなった小西さんは、更にかかしを作り続け、通りかかった車が思わず立ち止まるほどになりました。今では県外から小西さんのかかしを

つい、声を掛けたくなる  
「おばあちゃんかかし」。

# やってみました！ ラジオ体操第3

幻の

えっ！ラジオ体操に第3つであるの？それってどんな体操？地域おこし協力隊員でダンサーの藤井悠矢さんに挑戦していただきました。

1 元氣よく、その場足踏み



2 腕を振って、屈伸運動



3 1をくりかえす

4 腕を振って、深い屈伸運動（※）  
（※膝は2よりもっと深く曲げる）

ゆっくり、大きく



6 首回し、足を開いて



5 その場跳び



7 胸を開く運動



8 体側を伸ばす運動



ん!? これはむずかしい!

9 腕を回して、前後屈運動

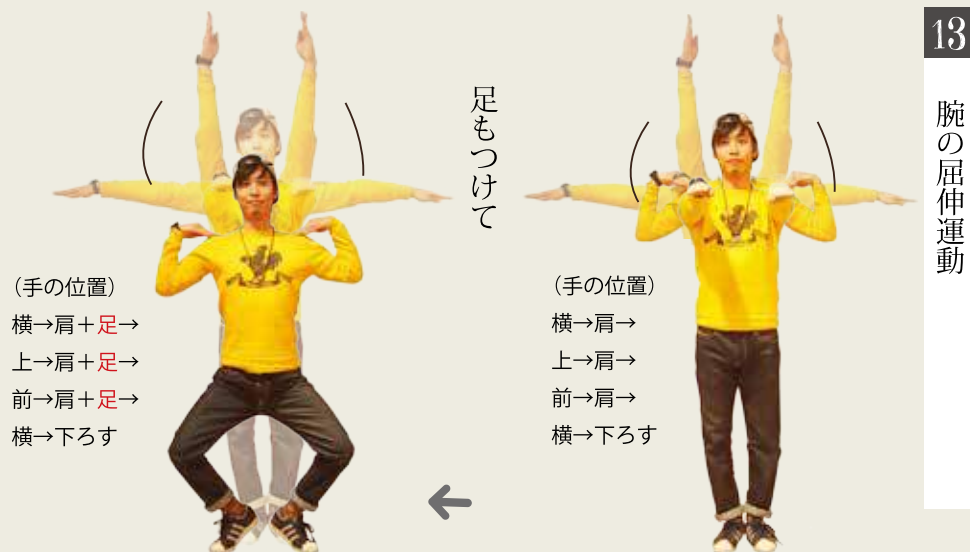


10 体の回旋、足を大きく開いて



東近江市では平成26年に、うつ病予防をねらいとした「こころとからだの健康づくり事業」のため、龍谷大学社会学部教授の安西将也氏に依頼し、この幻のラジオ体操第3の復活に取り組みしました。

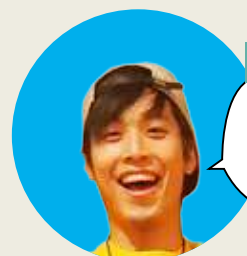
昭和14年に国民体力の向上などを目的とした大日本国民体操（ラジオ体操第3）が放送されました。しかし戦後まもなく放送中止となり、第3のみ復活せず幻となっていました。



大きなジャンプ、ハイッ！



END



ラジオ体操第3をやってみて

「初めての人にとっては難しい体操だと思うので、  
一緒にしてみたい人は、ぜひお声がけ下さい」

DVD「幻のラジオ体操第三 復刻版」(発行：東近江市)を市内図書館で  
所蔵していますので、ぜひご利用下さい。

●体操は無理をせず、ご自身の体調等を考慮して行って下さい。

からくり人形とロボット。実はからくり人形はロボットの原点とも言われています。この時代を超えた高度な技術の担い手たちが、東近江で技を磨いています。年齢や環境は違えども、ものづくりにかける熱意は同じ。今回みなさんにお話を聞かせていただきました！

## からくり人形

いさお  
岡田 勲 さん

作っているもの

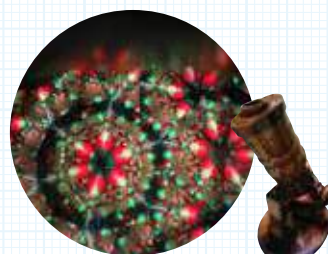
作り手



工房には新作からくりの一部が。



細かな部品の一つひとつが岡田さんの手作り。



「万華鏡とからくり人形を作っているすごい人がいる」という情報を聞きつけやってきたのは、岡田町在住、岡田勲さんのお宅。「自宅にある作品を見せていただきました。」

岡田さんは元々金属加工の仕事をしていました。定年後、初めて購入した万華鏡がとてもきれいで、「自分でも作ってみたい」と思ったのが15年前。それから市内の図書館に何度も足を運び、万華鏡の本を借りて研究されたそうです。「万華鏡」と聞くと小さなものをイメージしますが、岡田さんの万華鏡は、全長40cmほどの大きな置き型のタイプで、のぞくとさらに美しい世界が広がります。中身だけでなく、外側も木工機械で削ってすべて手作りされています。初めはうまく鏡に反射しなかったり、模様がきれいに見えなかったりと失敗つづき。試行錯誤を繰り返



す中で、表面にメッキがしてある特殊な加工の鏡を使用する必要がありますことや、ビーズなどの中身の量のバランス、中に入っている液体（グリセリン）の分量が重要であることなどを発見。工夫を重ねながら現在の万華鏡になりました。

その後、元々興味のあったからくり人形にも挑戦。図書館で借りた本には江戸時代に手描きで描かれた図面が載っていて、きっちりとした寸法は書かれていませんでした。そこで、写真から一つずつの部品の寸法を自ら考え、想像しながら人形を作っていました。

1年後、ついにお茶運び人形が完成。岡田さんの人形は江戸時代の姿を再現するだけでなくお客さんの前できちんと止まり、湯呑みを取ってまた元に

戻すと、元の場所へ戻ってくるよう改良されています。

次に作られた弓引き童子も、最初は弓がなかなか的に当たらなかったそう。何度も何度も調整し、今ではきちんと当たるようになりました。弓引き童子も写真でしか残っていなかったため、細かな部品まで岡田さんのオリジナル。よく見ると、小さな部品が一生懸命動いており、その様子を見るだけでも楽しめます。

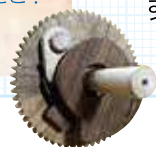
「作っているときは、寝ても覚めても考えているのはからくりのことばかり」と岡田さん。はつと閃いては、作業し、壁にあたっては少しずつ調整しての繰り返しで、気の遠くなる作業です。「凝り性な分、納得できるとダメなんです。しつかりとした丈夫なだけでなくいもを作ろうとするのだんだん大きくなるんです」。そのこだわりの性格と、今まで培われ

てきたものづくりの技術で生まれた万華鏡とからくり人形。2年前までは、個人の趣味として制作されていました。友人に勧められ、展示をされるようになりました。現在では、子ども向けの万華鏡教室をひらいたり、からくり人形の講座を開講されたりしています。「一人で作るより、みんなで行いながら作るほうがもっと楽しいんです」。岡田さんの、ものづくりの挑戦は、まだまだ始まったばかりです。



question

東近江のおすすめはどこ？  
御園コミセン



# ココロボ2の メンバーに聞きました！【その1】

若尾 輝くん  
水口中1年

- ①ロボットの知識やできることが増えたこと
- ②勉強とココロボの両立

竹村 公宏くん  
船岡中1年

- ①プログラムが組めるようになったこと
- ②オムニドライブ（三輪走行）
- ③二足歩行ロボットを作りたい

大辻 颯太くん  
五個荘小6年

- ①夢ができた
- ②ボールを追いかけるときの動作のプログラム
- ③ロボカップで世界大会の出場

桂田 晃輔くん  
滋賀学園中2年

- ①簡単なプログラミング技術を学べた
- ②ロボットの制御が難しい
- ③電力エンジニアになる

谷 朋紀くん  
布引小6年

- ①ロボットや機械、パソコンでいろんなことができて楽しい
- ②ショートや故障、プログラムの間違い
- ③ロボットエンジニアになって発明をしたい

木澤 正太郎くん  
八日市南小6年

- ①いろんな人に出会えて友達になれたこと。出来なかったことや難しいことを解決する力がついたこと
- ②大工を仕事にしたい。そして趣味で電気関係の物を触れる大人になりたい

安井 健人くん  
船岡中2年

- ①機械的なことをいろいろ学べた
- ②たまに思うように動かないこと
- ③水族館が動物園で働きたいです

この日は年の瀬も迫った12月20日。目下のみんなの作業は、年明け1月に行われる、ロボカップジュニアの「東近江ノード大会」に向けての調整。先輩にも見ってもらって頑張ってます！



ロボットを動かすためのプログラムは、パソコン上で専用のソフトウェアを使って作ります。



部品を切り出す機械もあります。

+

試合はこんな感じなのかな？



サッカーコートのようなこの台は「フィールド」と呼ばれ、線などをセンサーで感知するんだそう。

何やら難しそうなお話中...



調整して、動かして、調整して、動かして...の繰り返し。だからこそ、思い通りに動いたときの喜びもひとしお。



←赤外線を発する電子ボール。これを使用してサッカー競技をします！



作っているもの

## 自律型ロボット

作り手

## ココロボ2



ロボカップジュニアの大会は3部門あり、ココロボでは主にサッカー競技のロボットを作っています。



## ココロボ2って何？

平成26年、東近江の高校生チームがロボカップジュニア世界大会に出場するというニュースがまを駆け巡りました。彼らが所属していたのが、ロボットの自主研究サークル「ココロボ2」。平成18年から探検の殿堂では、小中学生対象のロボット教室「科学探検隊ココロボ」を開催しています。「ココロボ2はココロボで基礎を学び、「もつとロボットを作りたい」という思いを持つ子どもたちが自主的に参加しているサークルです。

「ココロボ2では与えられる課題は無く、一から自分たちの創意工夫で作業を進めます。そうしてロボットを作る中で、考える力を育んできました。」「純粋なだけでなく、大人の言いなりにはならない、そんな芯の強さを持っているのもココロボ2の子たちの特徴です」と、はじまりから見守り続けてきた学芸員の角川さん。子どもたちのロボットへの情熱を「年齢ではなく、人として尊敬できます」と仰います。

## ロボカップジュニアとは

ラジコンのような人の操作により動くロボットではなく、自分で考えて動く自律移動型ロボットによる競技で、「ロボカップ」の1つ。小学生から参加できます。

材料は、意外にも近くのホームセンターでほとんど揃うそう。「どうしても無いものはネットで買います」とのこと。



# 御代参街道

みんな  
楽しんで  
参ります！

いつも通っているのに、車の運転席からは見落としてしまう景色があります。そんな歩く速さで見えるまち』をさがしに、御代参街道を歩いてみました。

江戸時代、將軍徳川家光の代わりとして春日局が伊勢神宮・多賀大社を参拝する際に整備されたのが御代参街道です。その距離は36キロメートル。東海道の土山宿と中山道の愛知川宿を結ぶ、いわばバイパス道路です。八日市は、古くは街道沿いに商店が立ち並び、人が行き交い、市場の町として発展してきました。その風情が残る清水1丁目から中野神社までの約1キロが今回のコースです。かつての市場町に思いをはせながら、歴史文化振興課の職員さんと歩く古道。新しい発見ができそうな予感にワクワク！

- ①ココロポに入ってきたきっかけ
- ②ロボット歴
- ③ココロポに入ってよかったこと
- ④苦勞していること
- ⑤趣味
- ⑥将来の夢やこれからやりたいこと
- ⑦東近江のおすすめはどこ？

西村 友之くん  
大学3年生

ココロポの1期生。またココロポ2が立ち上げからのメンバーで、今は指導者として活躍。みんなの頼れるお兄さん。

八日市地域 在住  
大学でバイオリンの演奏ロボットを作りにかけてます

- ①NHKのロボコンをみて興味を持ちました。そのときちょうど教室があって参加しました
- ②10年目
- ③人見知りがなくなったこと。いろいろな人と話すことが多いから
- ④ココロポ2に入って2年くらい環境が揃ってなくて苦勞しました
- ⑤クレーンゲーム、バスケ、ミニ四駆、数学雑誌の問題解いたり。何か作るのが楽しいですね
- ⑥研究がうまくいってないので、今やっていることを頑張る
- ⑦八日市駅周辺とか。学校帰りよく通りました



細かな調整中。

西村君のロボットはみんなのお手本。「これを見て技を盗んで欲しいですね」。このロボットは改良を重ねて、なんと現在7代目！

緑の素材にこだわっているという川岸君のロボット。「赤いところも緑に塗ろうと思ってて」。名前もあり、「緑茶って呼んでいます。グリーンティです」。この時点では未完成なんだそう。



後輩たちに頼りにされています。

## ココロポ2のメンバーに聞きました！【その2】

川岸 大起くん  
高校2年生

ココロポ2の選手でありつつも、初心者クラスの現役サポーターである高校生のふたり。後輩指導をしつつ、自分のロボットも作っています。

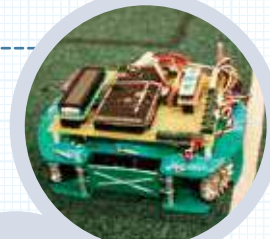
脇 嘉理くん  
高校1年生



大差で負けたという試合の映像を「清々しくて笑える」と話しながら見ているところ。話さずにはいられません！

蒲生地域 在住  
コンピューター部(タイピング)

- ①ちやうどレゴが大好きなときに、教材がレゴブロックのロボットで楽しそうだと思って
- ②7年目
- ③中学1年からココロポ2へ
- ④特技が増えました。試合が楽しい
- ⑤自作のロボットなのでトラブルが多い
- ⑥ゲーム
- ⑦パソコン関係 ゲーム作るとか
- ⑧桜川駅。レトロな感じがいいのかな



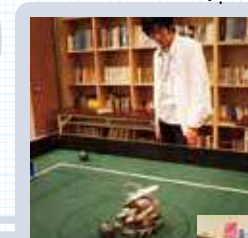
能登川地域 在住  
放送部

- ①小学校にロボットの出前授業があったので
- ②6年目
- ③中学1年からココロポ2へ
- ④物事に対して積極的になったかもしれない。動かすのが楽しい
- ⑤全部です(笑) 常にモヤモヤして一瞬だけ楽しい
- ⑥観葉植物、家庭菜園。プランターで育てています。家が農業しているし、植物好きなんです
- ⑦琵琶湖に落ちる夕日とかかなあ

競技に参加するには「ハンドル」という持ち手がなくてはならないそう。このときの脇君のロボット、持ち手が買い物バッグみたいでかわいい。「僕は名前はつけない派です」。



ロボット談義に花が咲き、思わず笑顔がこぼれます。



動きをチェック！

(問い合わせ)  
西堀榮三郎記念 探検の殿堂  
東近江市横溝町419  
☎0749-45-0011





この高低差がポイント！

道沿いには2階建ての家が続きますが、2階の屋根が低いものと高いものがあります。低いものは2階を居室として使っていなかった昔の建物、高いものは居室として使うようになった昭和の建物とのことです。

ゴールは中野神社。境内には移された造るバが3本あります。

と



旧 宮地病院

ほ

レンガのえんとつとまれ

に



と 中野神社

へ 徳園寺

今回のまち歩きでは、かつての街道の賑わいを彷彿とさせる建造物と変わりつつある今の姿を見ることができました。新しくなることもまち並みの自然な姿です。自分の足で歩いてみたことで愛着を感じ、私たちの暮らしが東近江をどんなまちにして、次代に引き継いでいきたいかを考えるきっかけとなりました。古いものと新しいものが混ざり合うまち並みには、のんびり歩くだけでも面白い発見があります。次の晴れの日には、ぶらぶら御代参街道歩き、いかがですか。(M)



に

そちら1号の裏表紙にも写っている、旧宮地病院。

NPO「レンガのえんとつとまれ」は、醤油蔵を改装した建物。国の文化財建造物に登録されています。



ほ

徳園寺には、明治の画家・林東溪と大正の俳人・高田幽窓の石碑があります。街道は文化の発展にも関わりがあるそう。



至 永源寺

国道421号

至 近江八幡

## 御代参街道

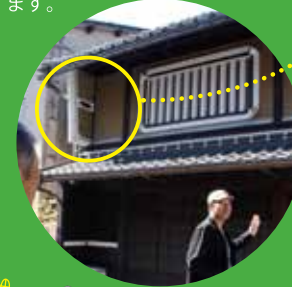
歴史文化振興課の嶋田さん。とてもわかりやすくお話ししてくださいました！



「車じゃ歩かない、細い路地もおもしろいですよ」と嶋田さん。



「建物を見上げてください。今の建物との違いに気がつくますか？」そう言われて気づいたのが、『うだつ』です。隣家との間の小屋根付きの壁で、元は火事が起こった際の延焼防止としてつけられました。その後、装飾を凝らして家の財を誇示するものとなり、出世ができないことを意味する慣用語『うだつが上がらない』の語源になったとも言われています。



は 薬師寺

道しるべ

交差点には、『左 いせひ乃みな口道 右 多賀系ち川ひこね道 文政丙戌冬』と刻まれた立派な道しるべがあります。文政丙戌とは文政9年(1826年)です。

八風街道



は

薬師寺から近隣の屋根に見えるという鍾馗さん。疫鬼を退け魔を除くという神様です。見るのを楽しみにしていましたが、数年前に降ろされたとのことで残念ながら見られませんでした。

降ろされる前の鍾馗さん。(写真・『歩いてみよう御代参街道』より)



中が候になります...



い

御代参街道と八風街道の交差点が今回の出発点です。目の前の親玉本店のショーケースをのぞくと、美味しそうな饅頭やういろうが並んでいます。街道を歩いてきた旅人たちも甘味で疲れを癒して、歩を進めたのかもしれない。

い 親玉本店



↑手前は「饅頭喰い」。**【子どもに父母どちらが好きか問うと、2つに割った饅頭を差し出してどちらが美味しか問ひ返し、この饅頭のようにどちらにも同じように好きだと答えた】**という問答にちなむもので、このような心の優しい子に育ってほしいという願いがこめられているそう。こういった人形にまつわる逸話も、「先代がお客さんに話しているのを聞いて覚えたんや」と細居さん。



↑次の干支の「とり」。この他にも何種類もあるのでお客さんに選んでもらいます。奥の擬人化されたとりは「卵売り」。自分の産んだ卵を売っています…！

#### question

東近江のおすすめはどこと？

弘誓寺ですかね。大きなお寺で、縦横で200mくらいあるのと思うかな。金堂の静かな町をぶらぶらするのもいいと思いますよ。

昔は細目が美人とされていたので、人形にもそれが反映されているのです。「父は明治の生まれで、（人形の目が）細目やけどな。今はパチっと、目の際に線を入れてな。時代によって変わってくる」。人形作りの技術をただ受け継ぐだけでなく、時代に合わせて少しずつ変化させてきたのです。一番難しいことは何ですかと尋ねると「何といっても顔やな。眉毛ひとつで死んでしまったりするから。生きたようにしないかね。顔がうまい

こといくとやれやれと思うし」と細居さん。勢いのある筆遣いのイメージと反対に、とても繊細な作業です。現在は全国の愛好家などからの注文を少しずつ作っています。「歌舞伎とかでも何代目っていうけど、九代なんてなかなかないで」と仰るように、細く長く続いてきた技。これからも続いてほしいと願うと同時に、みんなで見守っていかなくてはならない、地域の、東近江の宝なのだと思えて感じました。

お ば た  
小幡人形  
東近江市五個荘小幡町808  
☎0748-48-4075  
(お訪ねの際は、事前にご連絡をお願いします)

↓九代目の印。粘土が乾く前に書きます。素焼きの人形は茶色で、一度真っ白に塗ってから彩色していきます。



↓筆も絵具もたくさん！



東近江の  
伝統を受け継ぐ

お ば た に ん ぎ ょ う  
小幡人形 九代目当主  
ほ そ い げ ん じ  
細居 源悟 さん



小幡人形は原色を使ったはっきりとした色合いが特徴。群青と桃色は必須カラーです。

旧中山道と御代参街道が交わる場所、五個荘小幡町。ここにしかない郷土玩具・小幡人形（「小幡で」とも呼ばれている）は、九代続く伝統ある工芸品です。鮮やかな色合いと、素朴で親しみのある豊かな表情を持つ小幡人形は、年賀はがき、記念切手の図柄にそれぞれ2度採用されているので、皆さんもどこかで目にされているかもしれません。始まりは、今から約300年前の江戸時代。当時は土人形の源流である、京都の伏見人形が盛んに売られていました。その手法を京都通いの飛脚だった初代安兵衛が習得し、小幡人形を作り始めました。明治の初期までは同業者が四、五軒ありましたが、現在は本家のみとなり、細居源悟さんが九代目です。小幡人形は、土でできた人形です。工程を大きく分けると、土をこねて型

を取って焼く形を作る作業と、人形に色を付ける彩色の作業があります。形を作るための土型は、実は新しく作ることはほとんどありません。既にこれまでに作られたものが、なんと約400個も残っているからです。中には初代安兵衛の土型も残っていて、今も使えるというから驚きです。型にはきちんとして、安兵衛の「安」の印があり、長い年月を経て技が受け継がれていることがよくわかります。彩色の作業は色ごとに行います。「今日は赤」「今日は青」と色を決め、手際よく、でも丁寧に塗っていきます。九代続くなかで色数も少しずつ増えてきました。また、それぞれの代の特徴も現れます。先代の作品を見ると、確かに目がしゅっと細い。

奥は、細居さんもお気に入りの「福助さん」。よくある座っているものと違い、立って茶色の羽織を羽織っており、庶民的なのだそうです。→





# 銭湯へいらっしやい

まちの社交場とも言われる銭湯。東近江市内に残る銭湯は2軒となりました。かつて銭湯へ通っていた人、行ったことはないけれど気になっている人…。今宵、あたたかな湯に癒やされに行きませんか？

ENGAWA CAFE

## 縁側カフェ

地域の元気のために、この一杯。

ハンドドリップで淹れるコーヒーのやわらかい香りが部屋全体を優しくつつむ。おいしいコーヒーを飲みながらいろんな人と情報が行き交う場。それがガリ版ホールで開催されている「縁側カフェ」です。

始まりは蒲生地区まちづくり協議会が主催した地域デビュー応援塾という講座でした。これは退職後、第二の人生を楽しみながら地域の中で活躍できる人を支援するために開催されたもの。この講座を修了したメンバーがグループ「応援塾」を結成し、いろいろなと模索しながら平成21年4月に「縁側カフェ」を開店しました。



薪ストーブのあたたかな炎がゆれ、子どもから大人までいろんな人の話し声や笑い声。扉を開けると



### ガリ版ホール

東近江市蒲生岡本町663

※ガリ版ホールは2015年11月、既存施設からの移築によりガリ版伝承館の奥に完成したログハウス。

#### ●縁側カフェ

毎週土曜日 13:00~16:00

#### ●ガリ版マルシェ

毎月第4土曜日 10:00~16:00

この日は地元のパン工房「ル・クプル」さんがヒマワリ油を使って作ったフォカッチャとシフォンケーキの試食品がふるまわれていました。このヒマワリ油は一昨年、蒲生スマーティンター周辺で育てたヒマワリの種から搾取したものとのこと。このように地元食材の生産・加工・販売をする仕組みを構築する（食の六次産業化）ためにイベントを開催したり、また地域資源を発掘し発信したり（着地型観光）、農による働き手を応援したりと蒲生地区ではいろんなプロジェクトに取り組みられています。地域が元気になるように、いろんな人がつながりながら今日もまちづくりは進んでいます。



近江鉄道八日市駅から徒歩で3分ほどの場所にある「延命湯」。暖簾をくぐると、番台犬のモコちゃんが温かく出迎えてくれます。

地域の社交の場だった銭湯も、今ではお客さん同士の会話も少なくなつたと話される店主の西村さん。

変わらない懐かしい雰囲気と西村さんの人柄に引き寄せられ、今も子どもからお年寄りまで多くの常連さんが訪れています。







# そこら

第3号

2016年3月31日発行

編集／そこら編集委員会

発行／東近江市